

**始業式の式辞より (part2)**

今年度のテーマ

凡事徹底・自ら動く

**未来を生きる子どもたちに必要な力は何でしょうか？**

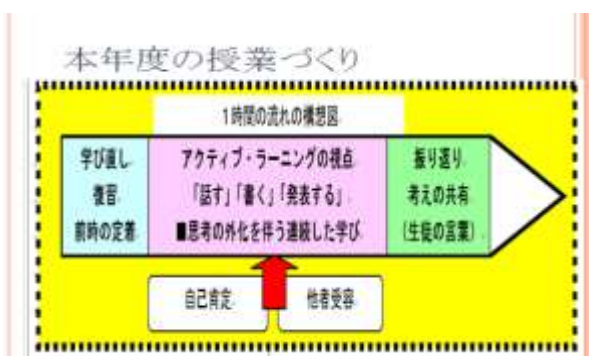
新年の新聞のアンケート（120社）で、半分以上の企業がAIを導入しているという結果が出ていました。また、アメリカの大学の調査では、今ある半分以上の仕事はAIやロボットがするようになるとも言われています。

さらに、同じ記事で、就職試験もAIやスマホに向かって面接をしている状況も記事になっていました。社会は今、たいへん速いスピードで大きく変わり、子どもたちは、私たちが経験してきたこととはまったく違う状況にこれから立ち向かっていかなければなりません。

「不易と流行」という言葉があるように、社会が変わっても、時代が変わっても、学校教育の中で変わらない大切なことはあります。例えば、人を思いやる心、体力、基礎的な学力、困難に立ち向かう強い心を育てることなどでしょう。

しかし、これからのグローバル社会、AIなどが導入された社会に生きる子どもたちには、その力に加えてコミュニケーション力、パソコンなどを活用する力、協働する力、発想、アイデアが必要になり、その力を学校教育、家庭教育の中で身に付けさせていくことが、日本全体で大きな課題になっています。

「**県外視察**」 さて、このような状況に対応するために、北九州市でも今年、多くの先生方が、秋田県、広島県、佐賀県、石川県などの「先進的な取組をしている学校」を見学してきました。本校からも、7名の先生方が研修に参加し、先進的な取組を学ぶことができました。



「**本年度の授業づくり**」 このような研修により、先生方の意識も変わり、今、新しい授業作りに、全教員で取り組んでいるところです。

本年度は、左図のように、授業の最初に、必ず復習や帯学習(漢字、単語、計算など)の時間を設け、展開の中では、友達や先生と学び合い、教え合うことで理解を深め、自分の言葉で表現する・伝えることを取り入れるようにしています。そして、最後に、授業のまとめとともに、生徒自らの言葉による振り返りを行うように、心がけています。

**◆平成29年度英語リーディングスクール・コアスクール研究発表大会**

その成果の発表として、昨年11月30日に1年2組で、戸畑区、八幡東区、西区の全英語科教員(約70名)

## 英語研究大会 11月30日



が集まって、公開授業がありました。1年2組の皆さんは、日頃の授業の成果を発揮して、ペア学習に元気よく取り組み、積極的に手を挙げて、学んだ英語を使って全体で発表していました。こんな風に、人前で物怖じせず、自分の意見をどんどん発表できるように、これからも取り組みましょう。

授業は、先生だけで創るものではありません。

生徒の皆さんとともに、良い授業を創っていきましょう。



## ◆ (カップ麺) と (生のうどんと白だし)

### どちらを選びますか？ (家庭科研究授業)

他の例 ○ (泥のついた里芋) と (真空パックの里芋)  
○ (着色料のついたたくあん) と (無着色のたくあん)

生徒は、実物の野菜や加工品を見ながら、どちらがいいのかを真剣に議論していました。

例えば、「なぜ、白だしがいいのか？・・・〇〇あり、1回に〇〇ml 使うので、〇〇回使える。300円だから1回が〇円になるので、白だしの方が得です。また、薄めたり、濃くしたりすることが可能です。だから、生のうどんと白だしがいいと思います。」・・・など。一人一人本当にユニークで、斬新な発想に、思わず聞き入ってしまいました。

そして、班で意見をまとめてホワイトボードに書き、各グループの代表が「なぜ、そちらを選んだのか」を理由をつけて、説明してくれました。全員が、いろいろなものを見比べながら一生懸命考え、友達の意見も聞きながら、さらに考えを深めることができたと思います。このような勉強を積み重ねて、賢い消費者になってほしいと思います。これからの生活に役立つ勉強でしたね。

